<様式3-1>

<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み>（長寿命型･ゼロ･エネルギー住宅型･高度省エネ型･省エネ改修型･優良建築物型共通）

様式3-1

グループ名称	森林認証材委員会
R2採択グループ番号	09 - 0205 - 0366

（1） 事務局体制の確認

（1）－1 ：グループ事務局の体制

選択項目	
■	専任の担当者を配置している
□	事務局担当者が複数人いる
■	事務局担当者には常に連絡が取れる
□	外部の業者に部分的に業務委託をしている 業者名
□	外部の業者に全ての業務を委託している 業者名
■	事務局担当者が複数のグループを担当している

（1）－2 ：グループのサポート体制

選択項目	
□	基本的に施工事業者が全て行い、交付申請等補助申請のみ対応
■	設計申請等のサポートが出来る体制になっている
□	施工に関するサポートが出来る体制になっている
■	維持管理に関するサポートが出来る体制になっている
■	地域型住宅の営業提案に関するサポートが出来る体制になっている
□	その他、グループ特有のサポート体制がある 内容

（1）－3 ：グループ内の情報共有の方法

選択項目	
■	グループ内でR3年度事業説明会を実施する
■	SNS等の情報共有ツールを使った情報公開･共有
■	メール･メーリングリストを使った情報発信
■	ホームページ等Webを使った情報共有･発信（会員専用ページなど）
■	TEL･FAXを使った情報共有･発信
□	その他 内容

（1）－4 ：所属工務店の廃業等があった際の対応について

選択項目	
□	指定ルールに基づいて積立を行っており廃業があった際の検査費用として活用し維持管理を引き継ぐ工務店を紹介する。
■	グループ事務局で維持管理を引き継ぐ工務店を紹介
□	グループ事務局にて維持管理を代行
□	グループ事務局が住まい手と相談し住まい手の意向に合わせる
□	第三者機関に維持管理業務を任せるため問題なし
□	グループ事務局として対応しない
□	その他 内容

<様式3-2>

<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み>（長寿命型･ゼロ･エネルギー住宅型･高度省エネ型･省エネ改修型･優良建築物型共通）

様式3-2

グループ名称	森林認証材委員会
R2採択グループ番号	09 - 0205 - 0366

（2） 地域型住宅の仕様、品質に関する取組み

（2）－1 ：主要構造部(柱･梁･桁･土台)における地域材の推奨する割合

選択項目						
□	50%未満	■	50%以上	□	80%以上	

（2）－2 ：グループの住宅性能の向上や第三者による評価に関する取組み

選択項目			
□	設計性能評価書を取得している	■	ZEHに取り組んでいる
□	建設性能評価書を取得している	■	BELSに取り組んでいる
■	耐震等級3を取得している	□	低炭素住宅の認定を取得している
■	ゼロ･エネルギー住宅でも長期優良住宅の認定を取得している		
■	その他	上記のチェック項目に関して取得を推奨し、勉強会及び情報交換を定期的に行っている。	
	内容		

（2）－3 ：省エネ改修型の仕様･施工品質に関する取組み

選択項目		
□	推奨仕様	
	内容	
□	その他	
	内容	

（2）－4 ：地域型住宅の生産体制に関する取組み

選択項目			
□	地域型住宅で使用する用材の寸法規格化	■	使用する地域材の在庫把握の仕組み
□	地域型住宅の施工に関する統一基準がある。(一部箇所も含む)	■	指定(推奨)の建材･住宅設備機器等の活用による在庫情報の共有
□	地域型住宅の信頼性確保に向けた検査ルールがある	■	地域型住宅としてのグループ独自の証明証の発行
■	地域型住宅の積算･見積もりに関する統一したルールがある	□	完成保証･地盤補償等の各種保険の添付(瑕疵担保責任保険は除く)
□	その他		
	内容		

（3） 地域型住宅の維持管理に関する取組み

（3）－1 ：住宅履歴情報の管理･活用について

選択項目			
□	住宅履歴情報は施主が保管管理を行う	□	住宅履歴情報はグループ事務局で一括して保管管理を行う
□	住宅履歴情報は施工工務店で保管管理を行う(施工工務店任せ)	■	グループで指定する住宅履歴情報サービス機関で保管管理する
□	その他		
	内容		

（3）－2 ：維持管理の実施に関する取組みについて

選択項目			
□	グループ共通の維持管理計画書に従って維持管理･点検を行う	□	グループとして外部の機関と提携(契約)して維持管理を実施
■	各社個別の維持管理計画書に従って維持管理･点検を行う	□	維持管理の実施に関しては施工工務店任せ
□	その他		
	内容		

（3）－3 ：グループ事務局で維持管理の対応について

選択項目	
□	グループ事務局が施工事業者に連絡して維持管理･点検を行う
□	維持管理の実施に対してグループ事務局にて報告を受け管理する
■	維持管理の実施に関してグループ事務局では関与しない

<様式3-3>

<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み>（長寿命型・ゼロ・エネルギー住宅型・高度省エネ型・省エネ改修型・優良建築物型共通）

様式3-3

グループ名称	森林認証材委員会
R2採択グループ番号	09 - 0205 - 0366

（4）グループのサポート体制

（4）−1 ：グループで実施、参加する研修会・講習会

選択項目			
■	補助交付申請、実績報告等の補助事業に関連する説明会	■	省エネ改修に関連した研修会
■	地域型住宅の認定・評価書取得等の設計技術・知識に関する研修会	■	改正省エネルギーに関連した研修会
□	地域型住宅に関連した施工技術・知識に関する研修会	■	顧客提案等の営業手法等に関する研修会
□	地域型住宅の維持管理に関連した研修会	■	工務店経営に関連した研修会（人材育成・働き方改革・民法改正等）
■	住宅性の評価・表示協会が開催する講習会への参加	□	CCUS（建設キャリアアップシステム）に関連した研修会
■	住宅金融支援機構が開催する仕様書説明会への参加	■	事業者向け現場見学会
□	その他		
	内容		

（4）−2 ：グループ（事務局）の未経験工務店の割合

選択項目			
□	未経験工務店は所属していない	□	未経験工務店が1／3以上
■	未経験工務店の所属が1／3未満	□	未経験工務店がどれだけ所属しているかわからない

（4）−3 ：グループ（事務局）が実施している未経験工務店に対するサポート体制

選択項目			
■	未経験工務店への優先サポートの実施	■	営業支援（提案書作成・営業同行）
□	地域型住宅の補助活用マニュアル（手順書）の用意	■	事務局による交付申請書類作成支援
■	各種認定取得サービスの活用提案	■	事務局による実績報告書類作成支援
□	施工管理・施工検査のサポート		
□	その他		
	内容		

（5）地域産業・災害等への対応

（5）−1 ：地域社会との連携・継承等について

選択項目			
□	地域の伝統的なデザインの継承を意識している	■	地域の住まい方の継承を意識して対応する
■	地域の街並みの継承を意識して対応する	■	地域型住宅に和の住まいの要素を取り入れた対応を行う

（5）−2 ：和の住まいに関連した取組み

選択項目	
■	和室の提案や畳の活用を義務または推奨している 内容　プラン作成時に畳スペース等を推奨し、伝統的な和室の価値などを伝えていく。
■	和瓦の活用を義務または推奨している 内容　耐久性や耐熱性に優れる和瓦は、熱がこもりにくいので夏涼しく、冬は暖かく過ごせる。日本の気候や風土に合 っている等鑑み、住宅所有に提案を行う。
■	襖や障子の活用を義務または推奨している 内容　襖が持っている知恵と製作にかかわる技術を受け継いでいくことを鑑み、施工構成員各社の現場見学会等を通じて消費者に襖を可能な限り推奨していく。
□	地域の伝統的な素材を活用する取組みを行っている 内容
□	その他 内容

（5）−3 ：災害発生時・発生後の対応についての取組み

選択項目	
□	特に取り決めしていることは無い
■	取組みを行っている ※協会本部JBNと全国建設労働組合総連合の2団体で構成する（一社）全国木造建設事業協会（略称：全木協）が都道府県と応急仮設木造住宅建設に関する協定を現在までに17県と 締結している。静岡県と平成26年に協定締結し、全木協会の支部である全木協静岡県協会が災害が起こった時には、地場工務店・大工等の力を結集して災害復興にあたる。静岡県との災害協定締結後、連携体制の確立、応急仮設住宅建設の建設にあたる。 内容

（5）−4 ：災害発生時の取組み等に対しての国土交通省より情報提供の受け取りに関して

■	情報提供を受ける	□	情報提供を受けない

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取組み＞（長寿命型・ゼロ・エネルギー住宅型・高度省エネ型・省エネ改修型・優良建築物型共通）

補足資料

グループ名称	森林認証材委員会
R2採択グループ番号	09 - 0205 - 0366

（6）消費者への広報

（6）-1 グループの消費者への広報

選択記載項目	
■	グループの取組み等PRポイントについて 当会では発足当時よりSGEC森林認証の取得を軸にした地域材の活用及びブランド化を目的に活動を行ってきました。特に富士山麓で取れたヒノキを委員会独自に基準を定めSGECの認証を受けた「富士山檜輝」として商標登録し、「富士山檜輝」を活用した家づくりを推進しています。また、長く住み継いでもらうためには、住まい手の理解が最も重要であると考え、認証材の森を見学する「木こりツアー」を年に数回開催しています。直接森で働く林業者から話を聞き、木の良さをより深く理解いただく場として多くの方にご参加いただいています。SGEC（和名：『緑の循環』認証会議）国際的に通用する基準と指標を取り入れ、日本の森林実情に合わせた認証制度です。木の一本一本の出所まで管理した森林のみが認証されるもので、その認証材を使うことで成り立っているシステムです。霊峰富士の懐で私たちは豊かな森を育て、高い強度と美しさを誇るその良材を地元で活かすため、〈富士山檜輝〉を核とした住まいづくりを提唱しています。
■	地域型住宅の性能・アピールポイントについて 当会では発足当時よりSGEC森林認証の取得を軸にした地域材の活用及びブランド化を目的に活動を行ってきた。特に富士山麓で取れたヒノキを委員会独自に基準を定めSGECの認証を受けた「富士山檜輝」として商標登録し、全棟にこの「富士山檜輝」を利用することとする。使用量は土台・柱に100%を使用する。ただし、通し柱・化粧材などは除く。また、長期優良住宅では熊本地震等で得られた知見を踏まえ耐震等級3を推奨し、住宅ごとで難しい場合も構造的な知見を踏まえた設計を心掛け、災害後にも自宅で過ごせる安全性を有した住宅設計を行う。 ※昨今の木材の深刻な不足を踏まえ、本年度に関しては対応できる材料で対応することも可とする。
■	地域型住宅における地域材の活用について 上記に加え、1）主要構造材（土台・柱・梁・桁）には静岡県産材を50%以上使用し、土台・1F柱はJASに定められた耐久性区分D1の樹種のうち、特定樹種ヒノキ【富士山麓周辺】を用いる。化粧柱は除く。ただし、川上から川下の事業者の需要と供給のバランスを考慮して国産材「合法木材」も可とする。 2）その他構造材に関しても地域の木材補助等の情報を共有し、活用していく。 ※昨今の木材の深刻な不足を踏まえ、本年度に関しては対応できる材料で対応することも可とする。
■	引き渡し後の維持管理について 引渡後の住宅には、情報サービス機関であるJBN全国工務店協会のいえもりカルテを利用する。アラートサービス等を活用し、定期的なメンテナンス・インスペクションを実施し、地場工務店の強みである地域特性に合わせた細やかな見守りサービスを行う。この定期的な点検を実施するために引き渡し時に「住まいの管理手帳」等を利用し、住まい手に定期点検の必要性を説明する。

（6）－2 ：グループの消費者相談窓口

選択項目		
□	相談窓口等の連絡先がある	
□	TEL	
□	メールアドレス	
□	その他	

<様式5>

<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み>(ゼロ・エネルギー住宅型)

様式5

グループ名称	森林認証材委員会
R2採択グループ番号	09 - 0205 - 0366

(1) BELS認証による評価

(1)－1 :提案種別

選択項目				
■	BELS認証による評価	□	評価委員会による評価	

※ BELS認証による評価を選択したグループは、下記設問に回答ください。

評価委員会とはWEBプログラムで対応できない省エネ手法を個別に評価する方法です。 評価委員会による評価のみの場合は、設問(2)のみに回答してください。

(1)－2 :グループとして展開する地域(ゼロエネ住宅の供給予定地域)

選択項目															
□	1地域	□	2地域	■	3地域	■	4地域	■	5地域	■	6地域	■	7地域	□	8地域

(1)－3 :NearlyZEHでの申請

選択項目				
■	なし	□	あり	

(1)－4 :ゼロエネ住宅の該当事業形態

選択項目						
■	請負	■	請負(太陽光発電のみ分離発注)	□	建売	

(1)－5 :ゼロエネルギー住宅の取り組み

A:グループとしてゼロエネ住宅の供給に積極的ですか？

選択項目						
■	はい	□	いいえ	□	どちらとも言えない	

B:ゼロエネ住宅の省エネ性能について、グループで共有する数値目標は設定していますか？

選択項目			
■	はい	□	いいえ(要件に適応する住宅を供給する)

C:具体的な設定されている数値目標を記入ください。(設問Bで「はい」と回答いただいた方へ)

回答			
外皮平均熱貫流率(UA値)	0.5	W/㎡･K	
□ この項目の設定なし			
全体のエネルギー削減量(R)	110	%	
□ この項目の設定なし			
太陽光を除くエネルギー削減量(R0)	25	%	
□ この項目の設定なし			

D:交付申請における外皮計算は、どのような方法で行いますか？

選択項目					
□	グループ事務局が実施	■	申請事業者(施工事業者)にて実施	□	外注(外部事業者に依頼)
□	その他				

E:交付申請における一次エネルギー計算は、どのような方法で行いますか？

選択項目					
□	グループ事務局が実施	■	申請事業者(施工事業者)にて実施	□	外注(外部事業者に依頼)
□	その他				

<様式5モデルプラン>

<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み>(ゼロ・エネルギー住宅型)

様式5 モデルプラン

グループ名称	森林認証材委員会
R2採択グループ番号	09 - 0205 - 0366

F:交付申請におけるBELSの申請書作成及び申請は、どのような方法で行いますか？

選択項目					
□	グループ事務局が実施	■	申請事業者(施工事業者)にて実施	□	外注(外部事業者に依頼)
□	その他				

(1)－6 :モデルプランによるゼロエネ住宅性能の試算で、モデルプラン計算は、どのような方法で行いましたか？

選択項目				
■	グループ事務局が実施	□	外注(外部事業者に依頼)	
□	その他			

(1)－7:モデルプラン計算結果(必ずモデルプラン計算を1つ以上入力ください)

No	想定する地域区分(1~8)	外皮平均熱貫流率(UA値)	エネルギー削減率		主な省エネルギー手法					
			全体 R(%)	太陽光発電を除くR0(%)	太陽光発電	太陽光発電 容量(kW)	陽熱利用給湯設備	空気集熱式太陽熱利用システム	コージェネレーション	既定の評価に含まれないもの(記述)
1	7	0.55	105	34	■	4.2				
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										

NearlyZEHのモデルプラン計算結果

設問(3).でNearlyZEHモデルプランを選択した場合は、必ず1つ以上入力してください

No	想定する地域区分(1~8)	外皮平均熱貫流率(UA値)	エネルギー削減率		主な省エネルギー手法					
			全体 R(%)	太陽光発電を除くR0(%)	太陽光発電	太陽光発電 容量(kW)	陽熱利用給湯設備	空気集熱式太陽熱利用システム	コージェネレーション	既定の評価に含まれないもの(記述)
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										

(2) 評価委員会による評価　　(評価委員会による評価を選択の場合、ゼロエネ審査室より連絡があります)

(2)－1:導入する省エネ手法をお答えください

選択項目					
□	空気集熱式太陽熱利用システム	□	地熱利用		
□	その他				

(2)－2:現在の運用をお答えください

選択項目					
□	実際の物件に導入している	□	実際の物件に導入していない		